

図書館だより

5月

2018/05/02

仲井真中学校図書館発行
図書館司書 天野

図書委員 おすすめ本

天久鷹央の推理カルテ (シリーズ)



すみれの会による読み聞かせ

4月19日(木)から、すみれの会による読み聞かせが始まっています。すみれの会は、保護者の方や地域の方が参加している読み聞かせ団体で、毎週木曜日に読み聞かせをしてくださっています。

今年はどのような本を読み聞かせしてくれるでしょうか？楽しみに待っています。



天才ドクター天久鷹央(あめく たかお)は、カレー好きで人嫌いの大ヘンジン?!
事件が起きたら自ら突っ込んでいく!

河童に会った、と語る少年。人魂を見た、と怯える看護師。突然赤ちゃんを身籠った、と叫ぶ女子高生。だが、そんな摩訶不思議な“事件”には思いもよらぬ“病”が隠されていた...?

新感覚メディカル・ミステリー!!

鷹央先生が可愛くて、賢くて、キュンとします。謎ときも面白いです。

キャラもたってるし、笑える部分もある。でも、医療ならではの考えさせられる部分もあるいい作品だと思う。

久しぶりに面白い文庫本に出会った。主人公の個性や真相の気になる謎などとてもユニークな作品で同じシリーズの本にも手を伸ばしてしまった。

honto みんなのレビューより

今月のおすすめ本

5月15日は沖縄本土復帰の日です。沖縄に関連する本を読んでみましょう。また、5月3日は憲法記念日です。憲法についても学んでほしいと思います。



0類

沖縄は戦後、アメリカに統治されていた時代がありました。日本に復帰したのは、今から45年前の1972年5月15日です。



3類

そもそも憲法ってどんなものだろう？憲法九条って...？この本は、憲法の基礎について学べる本です。

第1回深読み委員会

平成30年5月某日

深読み委員会は仲井真中学校の図書館でひっそりと結成された。

活動内容は、深読み委員会という名前の通り、本をより深く読むことである。

いるのいないの

あらすじ

小学生の「ぼく」はおばあさんの家で暮らすことになった。

初夏のことである。両親の姿は見あたらない。ぼくとお

ばあさんの二人暮らし。

おばあさんの家はとても古い。(〃は本文からの抜粋である)

(天井の)“うえの ほうには はりという ふとい き
が わたっている。

おとなが だいに のったって はしごを かけたって
とどかないくらい たかい。”

“はりから でんとうが さがっている。そこから うえ
は うんとくらい。”



1回読んだとき、ただのお化け話だと思い、怖くなかった。でも、2回読んだとき、はりの上のお化けはおじいちゃんだと思い、怖くなった。だって、おばあちゃんに殺されたから怒ってるんでしょ？

おばあちゃんの家には猫がいっぱいいる。猫がおばあちゃんを守っているのか、操っているのか。それとも、おばあちゃんが村中の人を猫に変えたのかも。なんて。

はりの上のお化けが、私にはおばあちゃんに見えた。だとしたら、男の子というおばあちゃんは、**誰？**

この男の子、本当は死んでいるんじゃないかな。両親と一緒におばあちゃん家に来たけど、途中で事故にあって...自分が死んだことに気がついてなくて、だからお化けが見えるんだと思う。おばあちゃん？おばあちゃんに男の子が見えるのは、ほら、半分向こうに.....

**はりの上のお化け、本当にお化けなのか？
生きているって考えると、ぞっとする。**

おじいちゃんは生きている。
ただ、おばあちゃんが猫の相手ばかりしているからすねちゃっただけなのだ。ほら、最後のページの顔、すねてるよね。

怖かったからこんなことを考えた。
はりの上のお化けはおじいちゃん、実は死んでないんだって。おじいちゃん、孫がくるって聞いてテンション上がっちゃって、その勢いではりの上にジャンプ！で、そこに隠れて孫を驚かせようとウキウキ！でも、あれ？孫の反応が思っていたのと違う。でも、おじいちゃんにもプライドがある。途中でやめたなんて言えない。おばあちゃんはおじいちゃんのイタズラ好きにはうんざりしているから何も言わない。ほったらかし。なので、おじいちゃんはずっと**はりの上。**



